

わたしたち、先生1年生!

神奈川で先生として歩み始めた 初任者の学校での様子を紹介します。

小学校

三浦市立旭小学校
廣田 瑠愛 先生

自分の得意な教科等を見つけ
極めていきたい

Q: 採用前に不安に思っていたことは何ですか

A: 仕事についてはもちろんのこと、地元から離れて、初めて一人暮らしをすることや、慣れない土地で生活していくこと等、仕事以外の部分の不安もありました。今では新しい生活にも慣れてきて、周りのことが分かってきました。また、教員としての一日のルーティーンができてきました。



Q: 神奈川県の教員になってよかったと思うことは何ですか

A: 神奈川県の教育目標にあるように、地域と連携・協働する教育活動が充実しているところです。3年生の社会科の授業を参観していただくだけでなく、保護者の農家の方をゲストティーチャーとしてお招きしたり、草刈りやスポーツ大会に参加していただいたりと、普段から関わりがあります。保護者の方や地域の方もとても協力的で、快く受け入れてくださります。



中学校

小田原市立泉中学校
郷間 俊希 先生

出会えてよかったと思われ
る教員になりたい

Q: 教員の魅力について教えてください

A: 夏季休業期間があることです。他の職業とは異なり、夏季休業期間は比較的時間が確保しやすいため、落ち着いて業務に取り組むことができるだけでなく、自己研修の機会も持ちやすくなっています。また、普段行けない場所に行けたり、会いたい人に会ったりすることもできます。落ち着いて自己成長に向けての行動ができたり、プライベートで気持ちのリフレッシュをしたりすることができる夏季休業期間があることが大きな魅力です。



Q: 1日の生活パターンについて教えてください

A: 出勤後は学年の教室・フロア・トイレの窓を開けます。同時に、危険箇所や破損箇所が無いかを見て回り、生徒の受け入れ準備をします。その後、一日の流れの確認やメールチェックをします。部活動の朝練習があるときは、決められた時間まで指導をしたり、一緒にプレーをしたりします。日中は、空き時間を使って先輩方の授業を見学させていただき、日々勉強をしています。放課後は、部活動・委員会・各種会議・保護者対応などを行い、その後自身の業務に取り掛かります。仕事は“こまめやる”と決めないと、帰りが遅くなってしまいますので、メリハリをもって帰宅するよう心がけていますが、まだまだ効率的に動くことは難しく、工夫が必要だと感じています。



高等学校

神奈川県立厚木西高等学校
岩崎 諒 先生

生徒の背中を押すことができる
教員になりたい

Q: 先生になって苦労したこと、その苦労をどのように克服してきたか教えてください

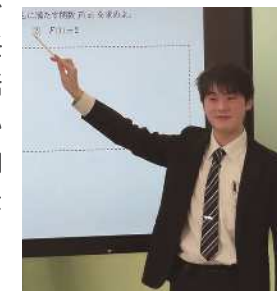


A: 苦労したことは、仕事の情報量が多く、今やるべき仕事がかかなくなりました。

一日の予定表を立て、今何をすべきかを見える形にして克服してきました。勉強以外の生活の中でも寄り添える存在になりたいと思っていますが、時間が足りないと感じることも多いです。初任者で慣れていないので授業準備や報告書の作成に時間がかかってしまいましたが、それでもなんとか時間を作って、「授業の10分前には教室に行く」ことを自分の中で決めて行動しています。

Q: これから手がけたいことや夢はありますか

A: 生徒の思いや考えに寄り添いつつも、いざというときには生徒の背中を押すことができる教員になりたいです。担任をするにあたって、生徒と対話をする機会をもっと増やしていきたいです。その中で、生徒の細かな変化にも気付けるようになり、それを他の先生とも共有していきたいです。



特別支援学校

神奈川県立みどり支援学校
青木 彩恵 先生

子どもから親しみやすい
教員でありたい

Q: 職場の様子を教えてください

A: とてもあたたかい雰囲気です。先輩教員にたくさん支えていただきながら仕事をしています。挑戦したいことを相談すると、「やってみよう!」と前向きに背中を押してくださる先生ばかりです。同期も多く、悩みを聞いてもらったり、お互いに刺激を受け合ったりしています。



Q: ワーク・ライフ・バランスの実現のために、ご自身で工夫されていることや学校などで取り組まれていることがあれば教えてください

A: 早く帰る曜日を決めたり、取得可能なタイミングで無理せず休みを取ったりしてリフレッシュしています。また、学校便りの印刷や美術の準備物の作成等は、業務アシスタントやサポーターの方に依頼しています。業務の依頼にあたっては、授業準備を計画的に行うことが大切です。ぜひ参考にしてみてください。

